

## 実践記録

学校 / 学年	小学校 / 2年	
教科等 : 単元名	学級活動 : 「でんわに出る時に気をつけること」	
キーワード	名前や電話番号を聞き出そうとする電話 対処の仕方	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	e1～e3 : 情報を正しく安全に利用することに努める。
	中目標項目番号 中目標項目内容	e1-2 : 知らない人に、連絡先を教えない。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友達などの名前、電話番号などの個人情報を安易に第三者に教えないことを知る。</li> <li>・個人情報聞き出しの状況に遭遇したら、保護者に代わったり、状況を連絡したりするなどの対応をとる。</li> </ul>	
使用教材	教材名	平成18年度版 情報モラル実践事例集(全国版)
	製作者	文部科学省委託事業「情報モラル等指導サポート事業」
	入手先(URL等)	<a href="http://kayoo.org/moral-guidebook/jirei/index1.html">http://kayoo.org/moral-guidebook/jirei/index1.html</a>

### 展開

	学習活動	指導 評価
導入	1 自作の挿絵を見ながら話を途中まで聞く。	・運送業者を名乗り学級名簿や電話番号を聞き出そうとする不審電話がかかってきたところまで話をする。
展開	2 主人公は、そのあとどのようにしたか考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だったらこのあとどのように電話対応ををするかについて考えさせる。</li> <li>・後日、クラスの保護者たちが、学習教材を売りつけられて困ったことという話をする。</li> <li>電話のマナーに気をつけながら、知らせないことや保護者に代わることを考えたり知ったりすることができたか。</li> </ul>
	3 話の続きを聞く。	
	4 電話でのどのような対応をすればよいか話し合う。	
おわり	5 電話機の模型で疑似体験をする。	・担任が第三者になりきり、丁寧な言葉遣いで情報を聞き出そうとする。

### 授業の実際・留意点

- ・2年生にもイメージしやすいように、挿絵や電話機などを用意した。授業中であると、安心して取り組めるので、情報を話さないことやスラスラと話すことも簡単そうにしていた。しかし、実際の場面では難しかったり、正直に話してしまうこともあるので、繰り返し確認して取り組む必要を感じる。

### 授業の成果、指導のポイント

- ・小学校2年生では、家庭で電話に出る機会も少ないが、お手伝いとして電話に出ることもある。丁寧な大人の対応でつい正直に話してしまわないように、知らないと伝えたり、疑似体験を通して、困ったことは保護者に代わったりすることなど、対処の仕方を知ることができた。
- ・不審な電話でも、丁寧な言葉遣いをするように伝える。